

予報期間 3月22日から3月28日まで

1. アンサンブル資料

- アンサンブル(ENS)：24日から25日にかけて日本付近をトラフが通過し、いったんゾーナルの流れとなるが、26日前半にかけて西北西から北西基調の流れが続く。期間の終わりは、日本付近を深いトラフが通過していく。この予報期間、日本の南では前線があって、トラフ通過のタイミングで北上してくる。26日から27日にかけて日本の南岸を低気圧が進む見込みで天気が崩れるところがある。期間の終わりは、西高東低の気圧配置となり、日本海側の地方を中心に雲が広がりやすく雨または雪の降る所がある。沖縄・奄美は、明日と期間の終わりは高気圧に覆われて晴れるが、そのほかの日は前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく雨の降る日がある。
- 500hPa基本場（週間予報支援図）：実況は、日本の東がトラフで日本付近は西北西流場。北・東日本は負偏差で西日本、沖縄・奄美は正偏差。予報期間は、日本の東がトラフは変わらないが、黄海付近もトラフとなる。北緯40度帯は西北西の流れが続くが北緯30度帯はおおむねゾーナル。北～西日本は負偏差だが、沖縄・奄美は正偏差と負偏差の境界付近となる。
- 24日～25日：西北西の流れのなかを5520m付近のトラフが日本付近を通過していく。東シナ海の前線上に低気圧が発生し、北緯30度線付近を東進し、大陸から北偏した高気圧が北日本に張り出す。北日本では高気圧に覆われて晴れるが、西日本と東日本では、前線や湿った空気の影響で雲が広がる所が多い。
- 26日：次の5400m付近のトラフが黄海付近に進んできて流れはゾーナルになる。本州の南海上には前線が停滞する。東・西日本は太平洋側ほど雲が広がりやすい。北日本は高気圧に覆われ概ね晴れる。
- 27日～28日：5400m付近のトラフが日本付近を通過したのち北西の流れとなる。東日本の南岸で低気圧が発生し、発達しながら北東進し、西高東低の気圧配置になる。28日は、大陸から高気圧が進んでくるため、西日本から西高東低の気圧配置は緩む。27日は、北日本の一部では晴れる所もあるが、西日本や東日本は低気圧や上空の気圧の谷の影響で雲が広がりやすく東日本の太平洋側では沿岸部を中心に雨の降るところがある。28日は、西日本や北日本の太平洋側では晴れる所があるが、日本海側は寒気の影響で、東日本の太平洋側は下層シアー近傍で雲がひろがりやすく雨または雪の降るところがある。
- 沖縄・奄美：前線や湿った空気の影響で、23日から26日頃にかけて雲が広がりやすく23日～24日は雨が降る所が多い。明日（22日）と期間終わりは高気圧に覆われる。
- ・アンサンブル(ENS)/27メンバー：24日の低気圧の予想について北緯30度付近もしくは日本の南を通るメンバーが全体の約3割。ほかには日本の南岸を通しているが、かなり発達させているメンバーも全体の約3割程度ある。26日に東日本の南岸に低気圧が顕在化させているメンバーは全体の約3割。
- ・スプレッド：昨日資料より、すべての予報期間で拡大した。特定高度線は、5700m線は概ね揃う。5400m線は期間の中頃からバラつきはじめるが、24日～25日、27日頃に日本付近をトラフが通過していくことは概ね揃っている。
- ・降水頻度分布：高降水頻度域は、24日から25日にかけて沿岸部を中心に拡大傾向。
- ・予想T850時系列：北日本から西日本にかけてはこの予報期間負偏差で経過する。沖縄・奄美は、23日～24日頃に正偏差の日があるが、ほかには負偏差。

2. 防災事項等

- ・特になし。

3. 明後日予報（3時40分発表の短期予報解説資料も参照）

- ・500hPaは北西流場、寒冷渦が北日本に進む。地上では、黄海や日本の南に中心を持つ高気圧が西日本から東日本を覆い、低気圧が北海道付近を通過する。この低気圧や日本のはるか東の低気圧と高気圧との間で気圧の傾きが大きく、北日本を中心に下層寒気の流入が続く。また、500hPaの5760m付近の強風帯に対応して、南西諸島付近に気圧の谷が形成され、高気圧後面の湿った空気が流れ込む。
- ・西日本や東日本は高気圧に覆われて概ね晴れるが、低気圧の通過や下層寒気が流入する北日本は、曇りや雪となる所が多い。また、気圧の谷が形成される南西諸島は全般に曇りで、雨の降る所もある。

4. 全般週間天気予報（案）

- ・北日本は高気圧に覆われて概ね晴れる日が多いが、低気圧や寒気の影響で雪または雨が降る日がある。
- ・東・西日本は、低気圧や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨または雪の降る日がある。
- ・沖縄・奄美は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降る日が多いが、明日と期間の終わりには高気圧に覆われ晴れる日がある。
- ・最高気温は、平年並か平年より低いところが多い。最低気温は、期間のはじめ平年より高い所があるが、その後は平年並か平年より低い。